

MICRO CADAM Helix Webセミナー

メニュー・バー操作解説 [ウィンドウ] 編

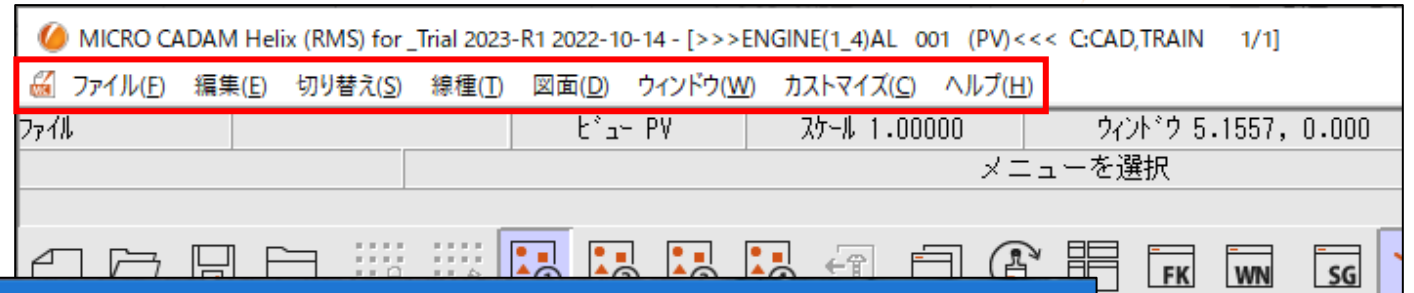
株式会社CAD SOLUTIONS
営業本部

はじめに

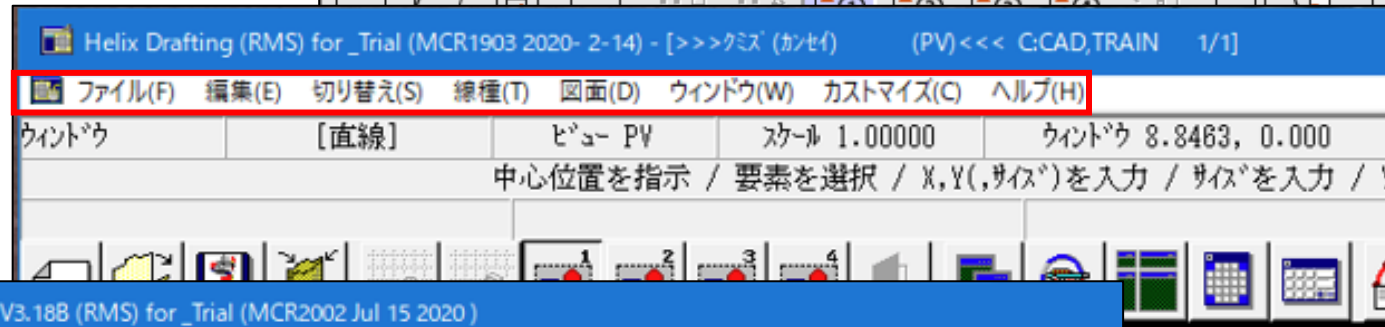
- メニュー・バーとは、ファンクション/メニューの機能を補完するためにMC V3以降に追加されたツールセットで、これまでに多くの機能拡張を行ってきました。

バージョン別のメニュー・バー表示

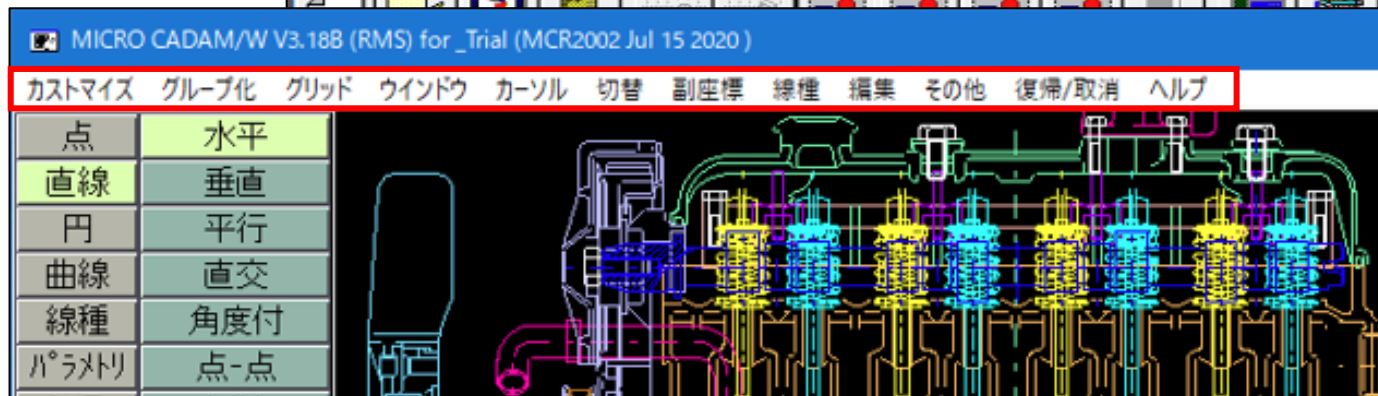
MC Helix 20xx

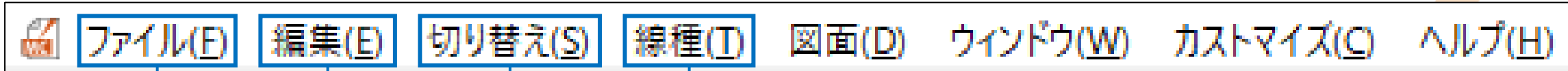


MC Helix V4



MC V3





新規作成(S)
 呼び出し(A)...
 上書き保存(V) / DXFファイルの上書き(Y) ★
 名前を付けて保存(E)... / DXFファイルの別名保存(E)... ★
 すべて保存(L)
 閉じる(C)
 すべて閉じる(O)
 カプセル化図面呼び出し(P)...
 画面印刷(E)
 印刷の設定(T)...
 印刷(I)
 簡易出力(Y)...
 PDF形式で保存(B) ★
 DXF形式変換(M) ▶ MC->DXF変換(L) ★
 DXF->MC変換(N)
 ログオフ(G)
 終了(X)

★印の付いた機能を使用するには、ライセンスが必要です。

図形複写(ビットマップ)(B) ▶ クリップボード(カラー)(C)...
 クリップボード(モノ)(L)...
 ファイル(カラー)(F)...
 ファイル(モノ)(M)...
 図形複写(メタファイル)(M) ▶ クリップボード(カラー)(C)...
 クリップボード(モノ)(L)...
 ファイル(カラー)(F)...
 ファイル(モノ)(M)...
 注記貼り付け(N)
 元に戻す(D)
 やり直す(R)
 テキストを元に戻す(U) Ctrl+Z
 切り取り(T) Ctrl+X
 コピー(C) Ctrl+C
 貼り付け(P) Ctrl+V
 削除(E) 削除
 文字列の検索(S)...
 図形の検索(A)...
 ハイパーリンク(H)...
 オブジェクト(O)...
 リンク(L)...

グリッド・ロック(G)
 グリッド表示(S)
 グループ1組(1)...
 グループ2組(2)...
 グループ3組(3)...
 グループ4組(4)...
 部品(B) ▶ 階層(T)...
 トップ(T)...
 親(U)
 子(D)
 次(N)
 前(P)
 解除(E)
 解除確認(C)
 子図(D)...
 ビュー(V)
 非現行ビュー色(N) ▶ 設定(S)
 解除(C)
 オーバーレイ(O)
 副座標(B)...
 レイヤー(Y)...
 オーバーレイ・レイヤー(L)
 グローバル変形(B)
 文字コード(C) ▶ 自動(A)...
 日本語(J)...
 中国語(C)
 台湾語(T)
 韓国語(K)
 ラテン文字1(1)
 ラテン文字2(2)
 キリル文字(Y)

線種1(1)...
 線種2(2)...
 ペン(P)...
 カラー(C)...
 無指定色(D)
 システム・カラー(S)...
 線幅(W)...
 線幅解除(O)
 継承モード(I)...



- ウィンドウ複写(W)
- 子図ウィンドウを開じる(O)
- 状態保存(S)
- 状態復元(L)
- 自動状態保存(U)
- 再表示(P)
- 図面の再表示(D)
- 全図面の再表示(A)
- 重複表示(S)
- 重複要素の確認(O)
- 表示範囲の変更(R)...
- 拡大表示(Z)...

- タイトル・キープ表示(K)
- タイトル表示(T)
- カスケード表示(O)
- アイコン整列(A)
- 標準サイズ(O)
- ファンクション・ボックス(F)...
- スマートガイド・ボックス(S)...
- <ウィンドウ>ボックス(W)...
- メッセージ・ボックス(M)...
- レイヤー・ボックス(L)...
- 変数ボックス(V)...
- 線種ボックス(Y)...
- 1 >>>
- .
- ・ (図面ウィンドウのリスト)
- .
- 9

今回解説する範囲

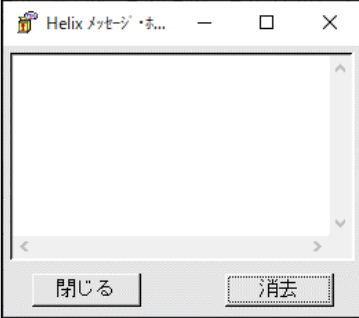



- カーソル(C)
 - ▶ 十字(C)
 - ▶ 全画面(F)
 - ▶ 小十字(S)
 - ▶ 矢印(A)
 - ▶ 小四角(Q)
 - ▶ プラットフォーム(P)
- マウス(M)...
- キーボード(K)...
- 図面選択(W)
 - ▶ シングルクリック(S)
 - ▶ ダブルクリック(D)
- スマートガイド(G)
- スマートハイライト(H)
- スマートストレッチ(S)
- スマートアシスト(A)
- スマートメニュー(P)
- ラバーバンド表示(B)
- 座標値表示(O)
- 配置子図要素選択(I)
- ファンクション(F)...
- メニュー(N)...
- メッセージ(E)...
- 図面ウィンドウ(D)...
- New Look(J)...
- 文字入力方法(T)
 - ▶ 間接入力(T)
 - ▶ 同時入力(D)
 - ▶ 直接入力(Q)
 - ▶ 入力域(K)
- 環境設定再読み込み(L)
- 環境設定ファイル(S)...
- ユーザーボタン定義(B)...
- イベントスタック(V)
 - ▶ 実行(E)...
 - ▶ 直ちに実行(X)
 - ▶ 記録(R)...
- VBコード作成(X)

- オンライン・ヘルプ(O)...
- チュートリアル(T)...
- ヘルプ・ボックス(B)...
- ログ収集(S)...
- 起動状況(I)...
- バージョン情報(A)...

メニュー・バー [ウィンドウ] 解説

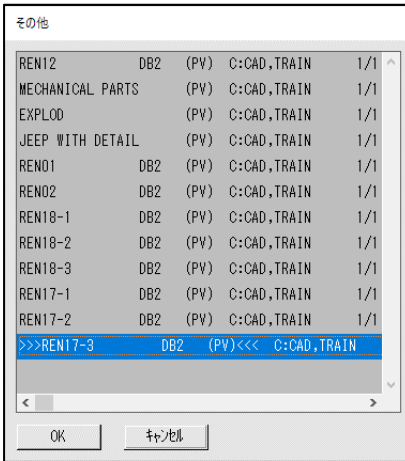
①

メインメニュー	サブメニュー	解説	
タイトル・キープ表示(K)		複数の図面ウィンドウを常に重ならないように配置します 図面ウィンドウの大きさを変更すると、すべての図面ウィンドウの大きさを調整して配置し直します (ツールバー と同じ機能です)	
タイトル表示(T)		複数の図面ウィンドウを均一の大きさを重ならないように配置します ウィンドウの大きさを変更すると、表示はそのまま維持されます	
カスケード表示(C)		複数の図面ウィンドウを均一の大きさを重ねて表示します	
アイコン整列(A)		最小化しているウィンドウを配置し直します	
標準サイズ(Q)		メイン・ウィンドウの大きさを標準サイズに戻します 標準サイズ (ディスプレイの解像度) は1024×768で設定されています	
② ファンクション・ボックス(F)...		ファンクション・ボックスを表示または消去します (ツールバー と同じ機能です)	
スマートガイド・ボックス(S)...		スマートガイドの機能をスマートガイド・ボックスを使って操作します (ツールバー と同じ機能です)	
<ウィンドウ>ボックス(W)...		<ウィンドウ> ボックスを表示または消去します (ツールバー と同じ機能です)	

メインメニュー	サブメニュー	解説																																																																																																
メッセージ・ボックス(M)...		<p>複数のアプリケーションが同時に動いているような場合、背景で動いているアプリケーションから出されるメッセージや処理状況などの情報を表示できます</p> 																																																																																																
レイヤー・ボックス(L)...		<p>レイヤーの属性情報、およびカレント・レイヤーの変更などが行えます</p>  <table border="1"> <caption>レイヤーボックス</caption> <thead> <tr> <th>加/削</th> <th>番号</th> <th>レイヤ名</th> <th>色</th> <th>線種</th> <th>幅/ハ/ソ</th> <th>表示</th> <th>プロ外</th> <th>色優先</th> <th>種優先</th> <th>幅優先</th> <th>高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td>1</td><td></td><td>1</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> <tr><td></td><td>2</td><td></td><td>2</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> <tr><td></td><td>3</td><td></td><td>4</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> <tr><td>X</td><td>4</td><td></td><td>5</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td></td><td>7</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> <tr><td></td><td>6</td><td></td><td>10</td><td>なし</td><td>なし</td><td>ON</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>OFF</td><td>0.000</td></tr> </tbody> </table>	加/削	番号	レイヤ名	色	線種	幅/ハ/ソ	表示	プロ外	色優先	種優先	幅優先	高さ		0												1		1	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000		2		2	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000		3		4	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000	X	4		5	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000		5		7	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000		6		10	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000
加/削	番号	レイヤ名	色	線種	幅/ハ/ソ	表示	プロ外	色優先	種優先	幅優先	高さ																																																																																							
	0																																																																																																	
	1		1	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
	2		2	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
	3		4	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
X	4		5	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
	5		7	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
	6		10	なし	なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	0.000																																																																																							
変数ボックス(V)...		<p>FK<解析>【変数】で表示される変数ボックスに登録されている変数を利用します</p>  <table border="1"> <caption>変数ボックス</caption> <thead> <tr> <th>変数名</th> <th>変数値</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>[1] A</td><td>= 100.000 100</td><td></td></tr> <tr><td>[2] B</td><td>= 50.0000 50</td><td></td></tr> <tr><td>[3] C</td><td>= 150.000 A+B</td><td></td></tr> <tr><td>[4] "str"</td><td>= MICRO CADAM</td><td></td></tr> <tr><td>[5] L1</td><td>= 30.0000 30</td><td>LENGTH OF</td></tr> <tr><td>[6] RDN</td><td>= 57.2958 57.295779513</td><td></td></tr> <tr><td>[7] P1</td><td>= 3.14159 3.141592654</td><td></td></tr> </tbody> </table>	変数名	変数値	コメント	[1] A	= 100.000 100		[2] B	= 50.0000 50		[3] C	= 150.000 A+B		[4] "str"	= MICRO CADAM		[5] L1	= 30.0000 30	LENGTH OF	[6] RDN	= 57.2958 57.295779513		[7] P1	= 3.14159 3.141592654																																																																									
変数名	変数値	コメント																																																																																																
[1] A	= 100.000 100																																																																																																	
[2] B	= 50.0000 50																																																																																																	
[3] C	= 150.000 A+B																																																																																																	
[4] "str"	= MICRO CADAM																																																																																																	
[5] L1	= 30.0000 30	LENGTH OF																																																																																																
[6] RDN	= 57.2958 57.295779513																																																																																																	
[7] P1	= 3.14159 3.141592654																																																																																																	
線種ボックス(Y)...		<p>線種ボックスを表示または消去します</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在モードに設定されている色、線の太さ、線の幅が表示されます ● 新しく作る要素はここで表示されている設定で作成されます 																																																																																																

③

④

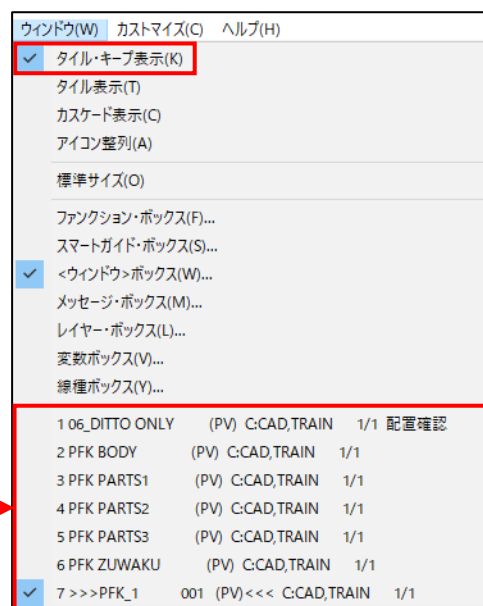
メインメニュー	サブメニュー	解説
1		MC Helix起動時の図面名はTEMPで表示され、図面を呼び出すとその図面名が表示されます 複数の図面を呼び出すと、常に直近で呼び出された図面名が表示されます
2		1で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
3		2で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
4		3で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
5		4で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
6		5で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
7		6で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
8		7で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
9		8で呼び出された図面の一つ前に呼び出されたの図面名が表示されます
その他(I)...		<p>[その他] を選択すると、呼び出されているすべての図面情報ダイアログが表示されます</p> 

メニュー解説①：タイル・キープ表示

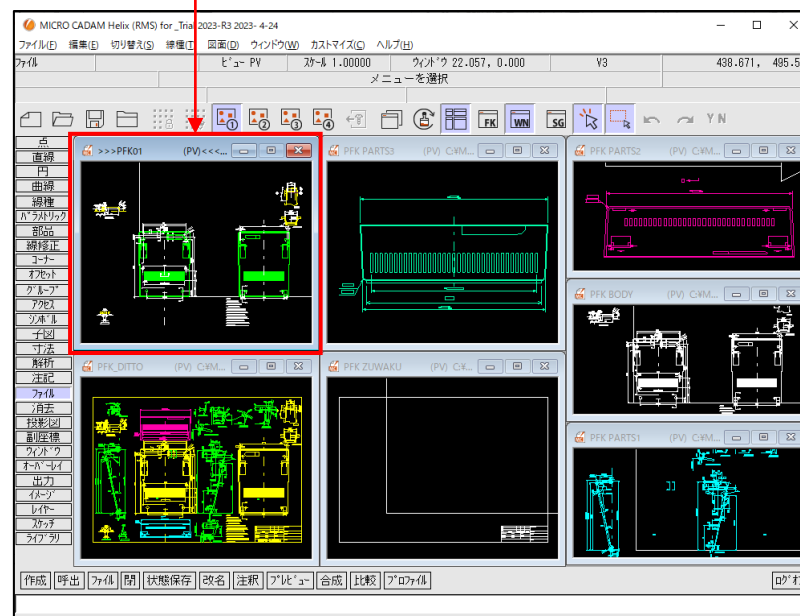
● タイル・キープ表示機能

- 複数の図面が呼び出されている場合、各図面のウィンドウを常に重ならないように配置します。
- 図面ウィンドウの大きさを変更しても、常にウィンドウの大きさを調整して表示し直します。

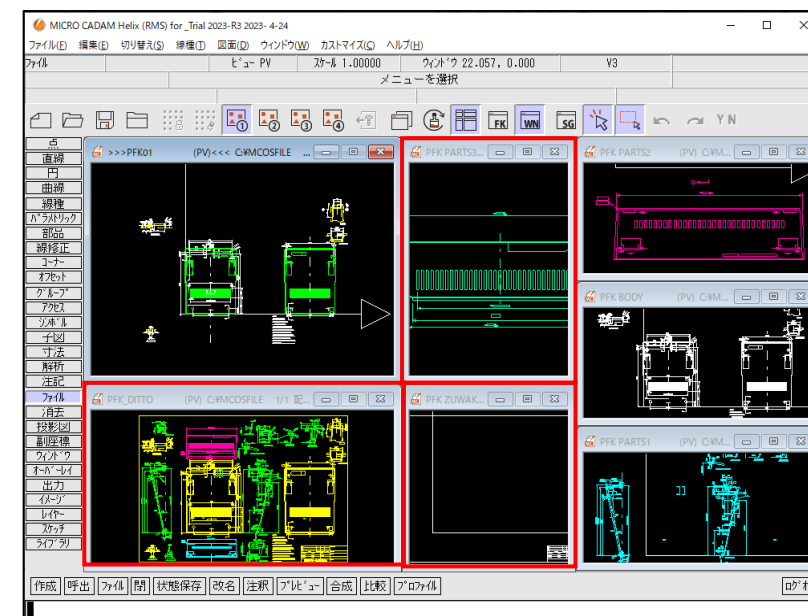
呼び出されている
7つの図面名






このウィンドウの
大きさを変更する



赤枠のウィンドウの大きさが
連動して変更される

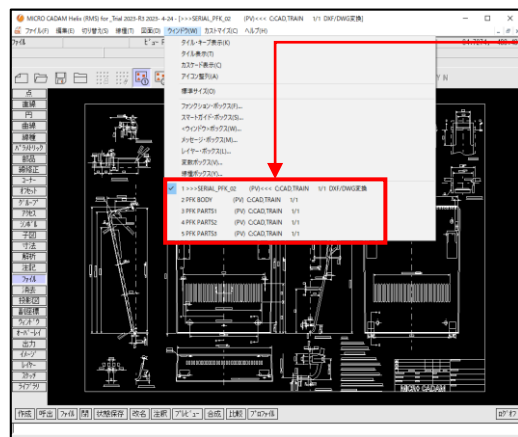


【タイル表示状態から1つの図面を全画面表示に変更する方法】
タイル・キープ表示をOFFにし、図面ウィンドウの全画面ボタン    をクリックしてください。

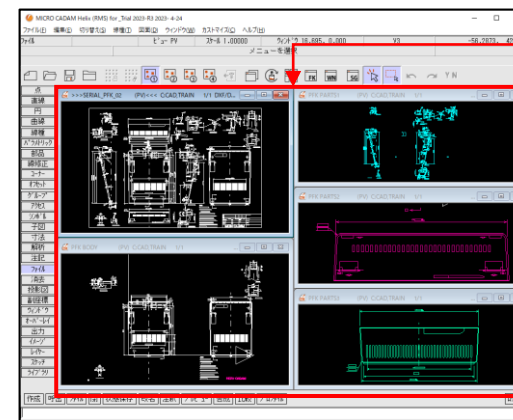
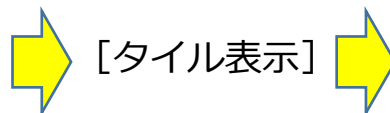
メニュー解説①：タイル表示 (1/2)

● タイル表示機能

- MC Helixに複数の図面が呼び出されている場合、均一の大きさに重ならないように配置します（最初のみ）。
- ウィンドウの移動やサイズ変更を行うと、ウィンドウの再配置は行いません。

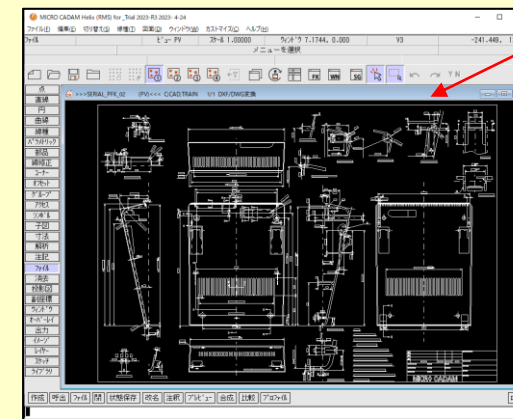
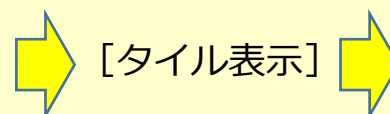
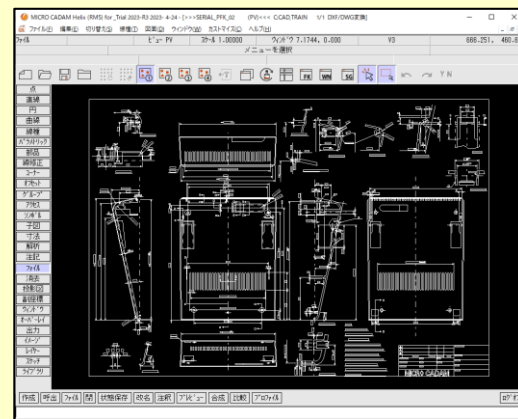


合計5図面が呼び出されている



重ならないようにタイル表示される

図面が1つだけ呼び出されている場合、タイトル・バーが表示されます。



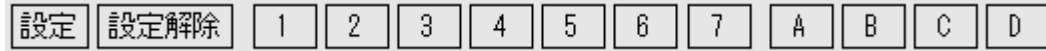
タイトル・バーが表示される

メニュー解説①：タイル表示 (2/2)

● タイル表示機能

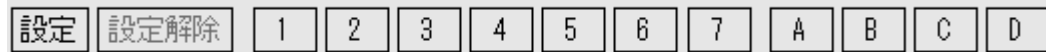
➤ 図面を追加で呼び出す場合、図面データのFK<ウィンドウ>【設定】の有無により表示方法が異なります。

✓ FK<ウィンドウ>【A】が設定されている図面の場合



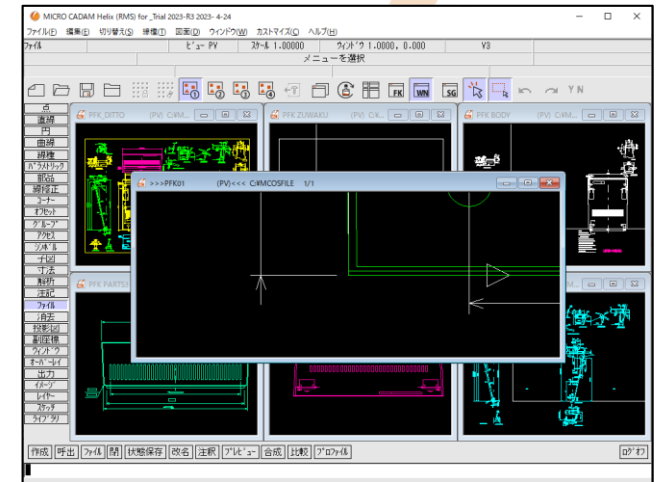
- 【A】で設定された内容で表示されます。
- メニュー・バー [ウィンドウ] → [タイル表示] で表示し直してください。

✓ FK<ウィンドウ>【A】が設定されていない図面の場合



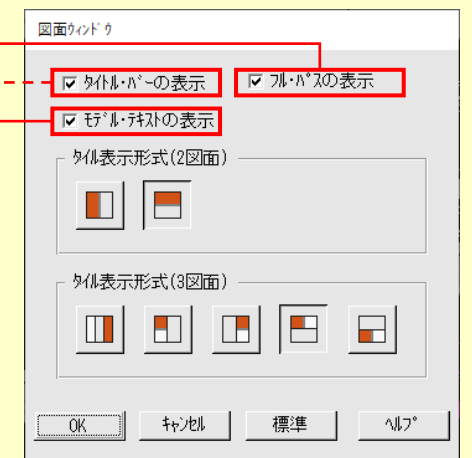
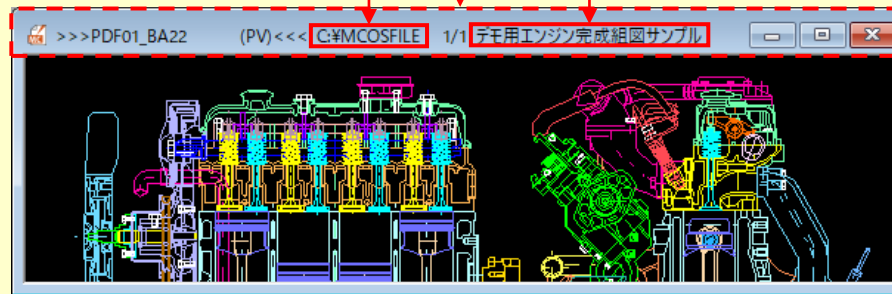
- 画面中央にウィンドウ表示されます。(右図参照)
- メニュー・バー [ウィンドウ] → [タイル表示] で表示し直してください。

【A】の設定がない図面の表示例



(注) タイル表示時の2図面と3図面の表示形式についてはメニュー・バー[カスタマイズ]→[図面ウィンドウ]で設定できます。ここではタイトル・バー表示のON/OFFや表示情報のON/OFF設定も可能です。

メニュー・バー
[カスタマイズ] → [図面ウィンドウ]

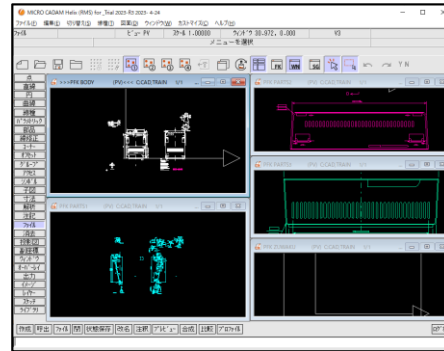


メニュー解説②：カスケード表示／アイコン整列／標準サイズ

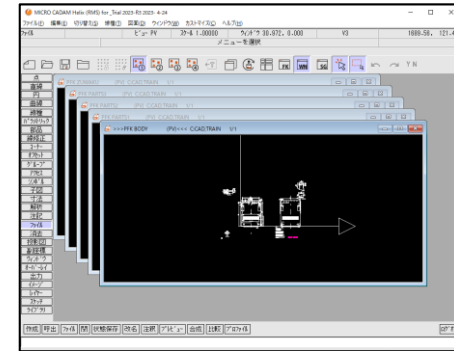
● カスケード表示機能

- 複数の図面ウィンドウを均一の大きさに重ねて表示します。

[タイル表示]



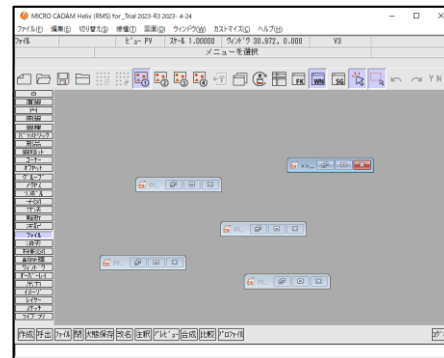
[カスケード表示]



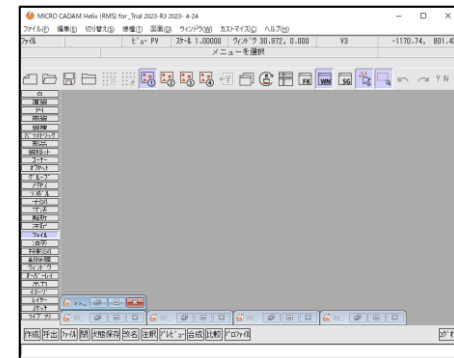
● アイコン整列機能

- 最小化しているウィンドウを再配置します。

[アイコン表示]



[アイコン表示 (整列後)]




● 標準サイズ表示機能

- MC Helixのウィンドウサイズを標準サイズの解像度1024×768にします。

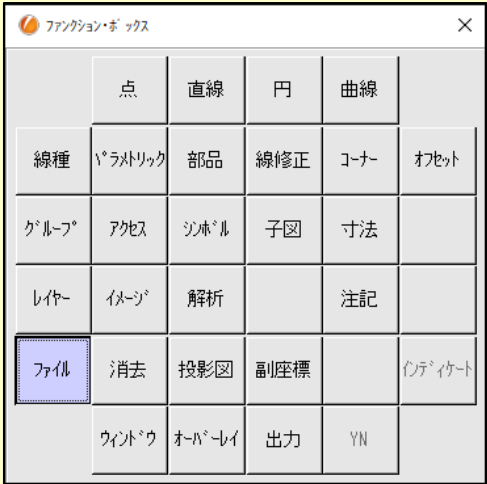
メニュー解説②：ファンクション・ボックス

● ファンクション・ボックス機能

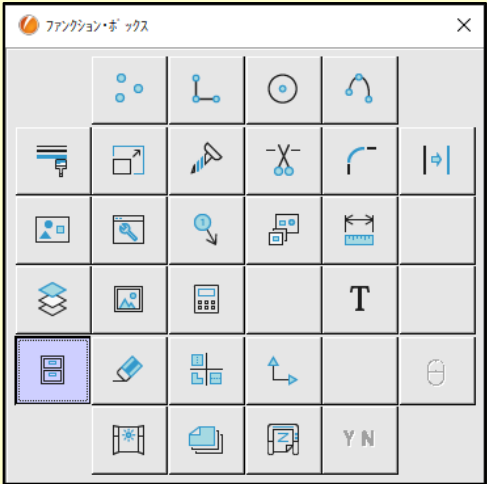
- ファンクションをダイアログで表示する機能です。
- ファンクション・ボックスの機能は、Function Keyboardと連動しており、ファンクションの配置をカスタマイズするとFunction Keyboardにも反映されます。
- メニュー・バー [ウィンドウ] → [ファンクション・ボックス] とツールバー  は同じ機能です。
- メニュー・バー [カスタマイズ] では、ファンクション・ボックスの表示方法などのカスタマイズが可能です。

(カスタマイズ例)

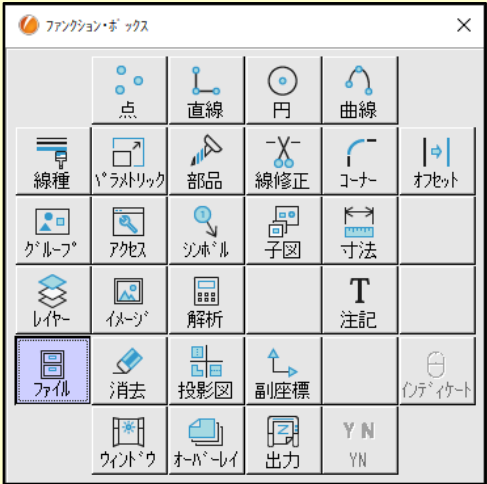
(文字表示)



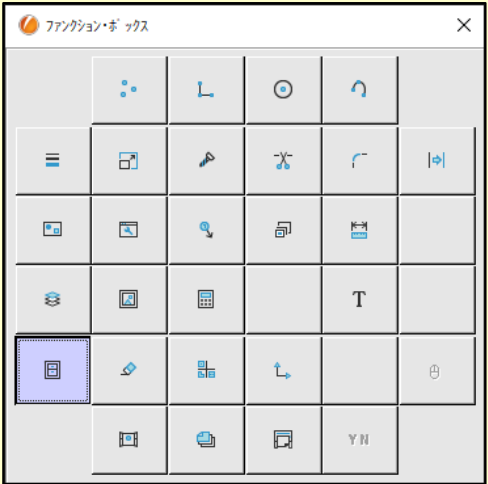
(大アイコン)



(文字と大アイコン)



(小アイコン)



● スマートガイド・ボックス機能


- ▶ スマートガイド機能を使用し、図形要素の特性値をスマートガイド・ボックスに表示できます。
- ▶ [スマートガイド・ボックス] をONにして図形要素を選択すると、その図形の特性値が表示されます。(左下图参照)
 - ✓ [次表示]：選択している要素の次に近い要素の特性値を表示します
 - ✓ [前表示]：現在の要素の直前に選択した要素の特性値を表示します
 - ✓ [再表示]：前後要素とは関係のない位置の要素を選択して特性値を表示します
- ▶ 表示した特性値は、スマートゲット（ボタン）により、要素作成や文字入力などの作図時に利用できます。(右下图参照)

(注) スマートガイド機能についてはメニュー・バー操作解説 [カスタマイズ編] でご説明します。



メニュー解説②：〈ウィンドウ〉ボックス

● 〈ウィンドウ〉ボックス機能

- FK〈ウィンドウ〉機能を補完する機能として〈ウィンドウ〉ボックスが提供されています。
- ダイアログ・ボックスは、ツール・バー  からでも表示できます。

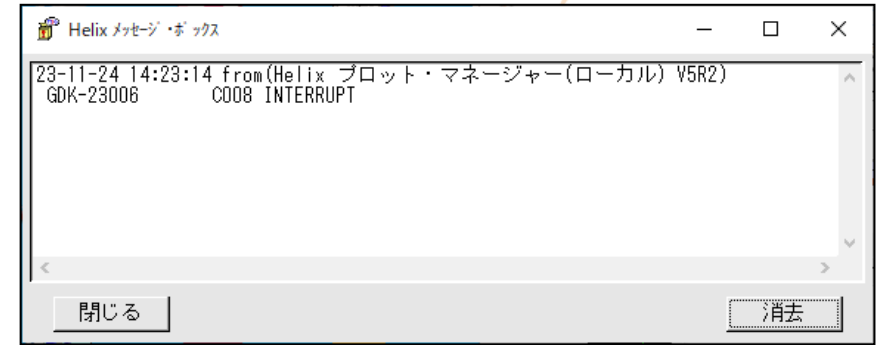


ボタン	機能
矢印	ウィンドウを矢印方向に移動
+	ウィンドウ拡大
-	ウィンドウ縮小
全体	図面全体を表示
設定	現在表示されている表示状態を保存
●	表示状態を「設定」で保存した表示に戻す

● メッセージ・ボックス機能

- 複数のアプリケーションが同時に動いているとき、バックグラウンドで動いているアプリケーションから出されるメッセージや処理状況などの情報を表示します。
- デフォルトでの使用例
 - ✓ FK<出力>でプロット・サーバー経由で出力した際にエラーが発生した場合、プロット・マネージャーの画面にエラー・メッセージが表示されます。
 - ✓ プロット・マネージャーは処理が終了すると一定時間で画面が閉じてしまうため、エラー・メッセージをメッセージ・ボックスにも表示するようにしています。

表示例



● レイヤー・ボックス機能

- レイヤーの属性情報、およびカレント・レイヤーを変更できます。
- 変更可能な属性情報
 - ✓ レイヤー名
 - ✓ 注釈
 - ✓ 色
 - ✓ 線種
 - ✓ 線幅/ペン
 - ✓ 表示
 - ✓ プロテクト
 - ✓ 出力
 - ✓ 表示優先 (色、線種、線幅)
 - ✓ 高さ



(参考)
 メニュー・バー [切り替え] の [レイヤー] でも同じダイアログ・ボックスが表示されます。
 ただし、[切り替え] の [レイヤー] ではカレント・レイヤーの切り替えのみ可能です。

(参考) レイヤー・ボックスの表示カスタマイズ

● レイヤー機能の環境設定ファイル (LAYER.TBL)

➤ LAYER.TBLでは、レイヤー・ボックスの表示項目の設定や、効率的にレイヤーを作成するための初期値の登録が可能です。

➤ ファイルの保存先

システムドライブ:¥MCADAM¥LAYER.TBL

● レイヤー・ボックス表示のカスタマイズ

➤ デフォルト表示

```

*** レイヤー・ポップアップ画面の表示項目のカスタマイズ ***
LAYITEM START ** カスタマイズ定義の開始 **
*項目名 FK-LAYER,MBAR/LAYER/ MBAR:/LAYER-BOX/
NAME ON ON * レイヤー名
TEXT ON OFF * 注釈
COLOR ON ON * 色
TYP ON ON * 線種
WDT ON ON * 線幅/ペン
SHO ON ON * 表示
PRTKT ON ON * プロテクト
PLOT ON OFF * 出力
COL_PR ON ON * 色優先
TYP_PR ON ON * 線種優先
WDT_PR ON ON * 線幅優先
HEIGHT ON ON * 高さ
LAYITEM END ** カスタマイズ定義の終了 **
    
```

➤ カスタマイズ例

```

*** レイヤー・ポップアップ画面の表示項目のカスタマイズ ***
LAYITEM START ** カスタマイズ定義の開始 **
*項目名 FK-LAYER,MBAR/LAYER/ MBAR:/LAYER-BOX/
NAME ON ON * レイヤー名
TEXT ON ON * 注釈
COLOR ON ON * 色
TYP ON ON * 線種
WDT ON ON * 線幅/ペン
SHO ON ON * 表示
PRTKT ON ON * プロテクト
PLOT ON ON * 出力
COL_PR ON ON * 色優先
TYP_PR ON ON * 線種優先
WDT_PR ON ON * 線幅優先
HEIGHT ON ON * 高さ
LAYITEM END ** カスタマイズ定義の終了 **
    
```

[注釈] と [出力] が表示されていない

レイヤーボックス

加/出	番号	レイヤ-名	色	線種	幅/ペン	表示	プロテ	色優先	種優先	幅優先	高さ
X	0										
	1		10	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000
	2		5	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000
	3		70	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000
	4		1	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000
	5		80	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000
	6		2	なし	なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	0.000

全レイヤ... 加/出レイヤのみ表示 閉じる ^M^P

[注釈] と [出力] が表示される

レイヤーボックス

加/出	番号	レイヤ-名	注釈	色	線種	幅/ペン	表示	プロテ	出力	色優先	種優先	幅優先	高さ
X	0												
	1			10	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000
	2			5	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000
	3			70	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000
	4			1	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000
	5			80	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000
	6			2	なし	なし	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	0.000

全レイヤ... 加/出レイヤのみ表示 閉じる ^M^P

● 変数ボックス機能

- FK<解析> 【変数】で新規登録、または既に作成している変数定義ファイルの内容が表示されます。
- 変数定義ファイルは下記のフォルダに保存されています。
システムドライブ:¥MCADAM¥MCVALUE.DAT
- 繰り返し入力する値などを登録しておく場合に便利です。
(例) 0.1234という値を「D」に割り当てた場合、 $D*10=12.34$ と入力できます。

(注) 変数定義ファイルの定義方法については下記マニュアルを参照ください。
『管理・運用解説書』→第6章 外部データ・ファイル→6.5 変数定義ファイル

FK<解析> 【変数】

変数名	変数値	コメント
[1] A	= 100.000 100	
[2] B	= 50.0000 50	
[3] C	= 150.000 A+B	
[4] "str"	= MICRO CADAM	
[5] L1	= 30.0000 30	LENGTH OF
[6] RDN	= 57.2958 57.295779513	
[7] PI	= 3.14159 3.141592654	

変数

閉じる 削除 ヘルプ

メニュー・バー [ウィンドウ] → [変数ボックス]

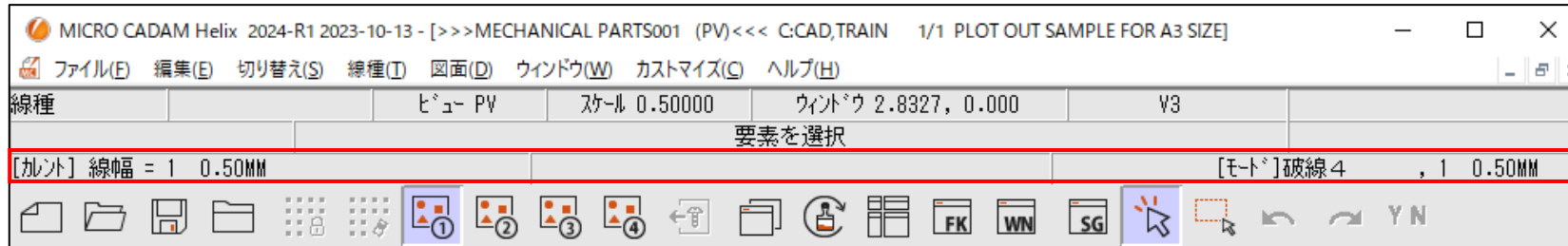
変数名	変数値	コメント
[1] A	= 100.000 100	
[2] B	= 50.0000 50	
[3] C	= 150.000 A+B	
[4] "str"	= MICRO CADAM	
[5] L1	= 30.0000 30	LENGTH OF
[6] RDN	= 57.2958 57.295779513	
[7] PI	= 3.14159 3.141592654	

変数ボックス

閉じる 取込 ヘルプ

● 線種ボックス機能

- FK<線種>の【線種1】【線種2】【線幅】【ペン】【カラー】で、それぞれの【モード】設定値が表示されます。
- 線種の【カレント】や【モード】は、FK<線種>選択時にメッセージ領域に表示されていますが、ニュー・バー【カスタマイズ】→【メッセージ】は、他のファンクション選択時でも線種の【カレント】と【モード】を表示できます。



FK<線種>選択時に表示される線種の【カレント】と【モード】

- 【ウィンドウ】→【線種ボックス】の表示例

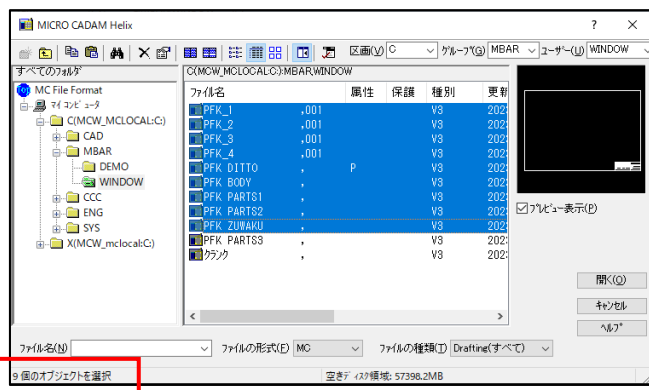


メニュー解説④： 1～9、その他 (1/2)

● 1～9、その他の機能

- 呼び出した図面名は9図面までリスト表示されます。
 - ✓ MC図面名形式の表示内容：ファイル名、区画：グループ,ユーザー,注釈
 - ✓ OSファイル名形式の表示内容：ファイル名、ファイル保存先のパス,注釈

[Helix
エクスプローラー]



9図面を選択中

メニューバー
[ウィンドウ]

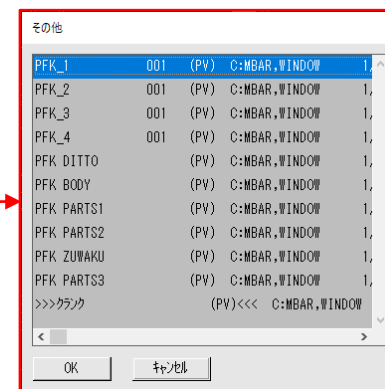
1	PFK_1	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
2	PFK_2	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
3	PFK_3	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
4	PFK_4	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
5	PFK DITTO	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1 配置確認
6	PFK BODY	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
7	PFK PARTS1	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
8	PFK PARTS2	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
9	>>>PFK ZUWAKU	(PV)<<<	C:MBAR,WINDOW	1/1

- 10番目の図面を呼び出すと、9番目の図面名表示は10番目の図面に入れ替わります。
- 呼び出したすべての図面名を確認するには、 [その他] でダイアログ表示されます。

メニューバー
[ウィンドウ]

1	PFK_1	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
2	PFK_2	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
3	PFK_3	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
4	PFK_4	001 (PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
5	PFK DITTO	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1 配置確認
6	PFK BODY	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
7	PFK PARTS1	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
8	PFK PARTS2	(PV)	C:MBAR,WINDOW	1/1
9	>>>PFK PARTS3	(PV)<<<	C:MBAR,WINDOW	1/1

その他(I)...



メニュー解説④： 1～9、その他（2/2）

- 1～9、その他の機能

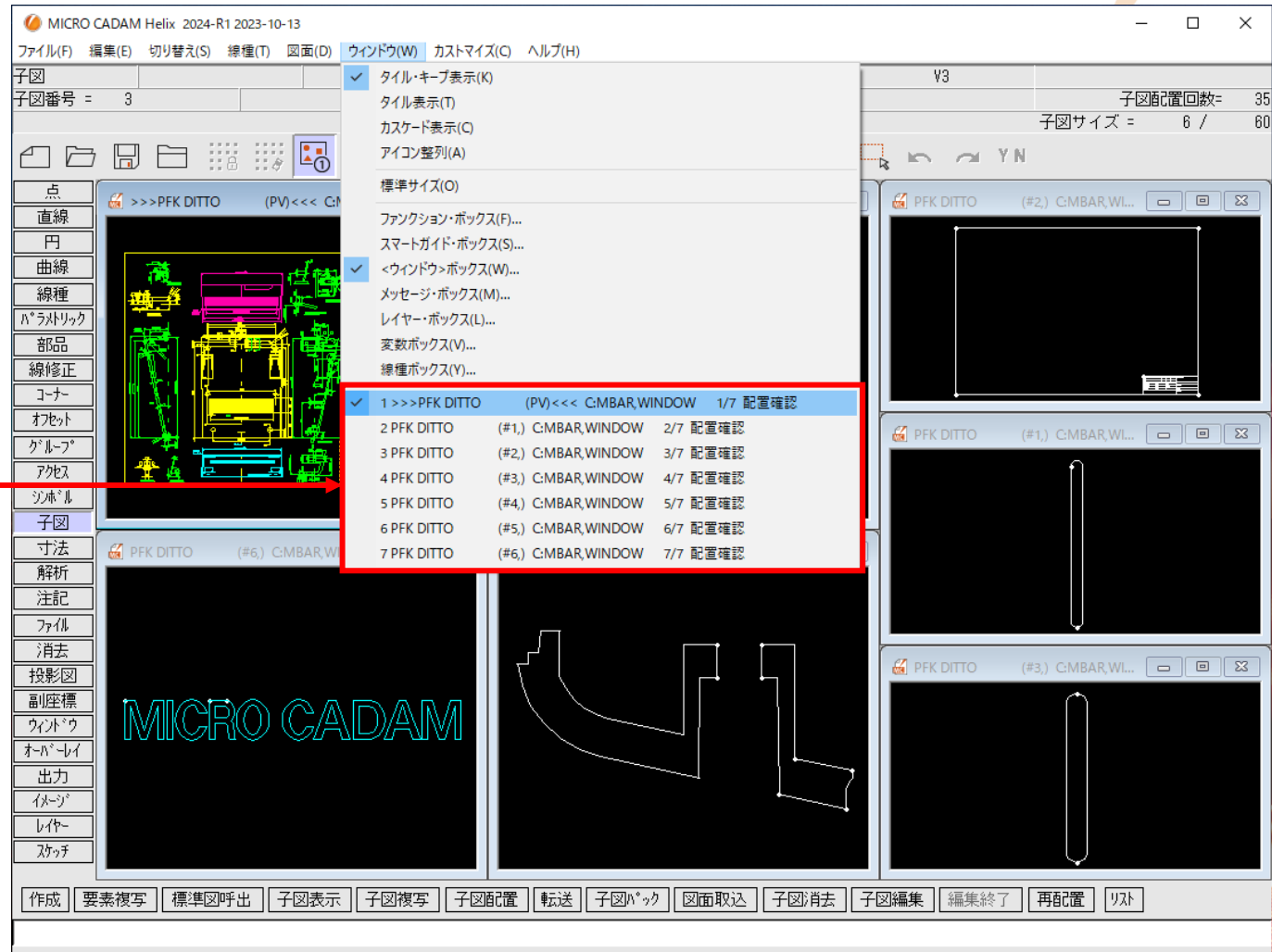
- 同一図面の複数の子図を表示した場合、図面リストには以下のように表示されます。

図面名
PFK DITTO

子図数
#1～#6

ウィンドウ表記

1/7：ビューPV
2/7：子図番号#1
3/7：子図番号#2
4/7：子図番号#3
5/7：子図番号#4
6/7：子図番号#5
7/7：子図番号#6



まとめ：メニューバー [ウィンドウ]

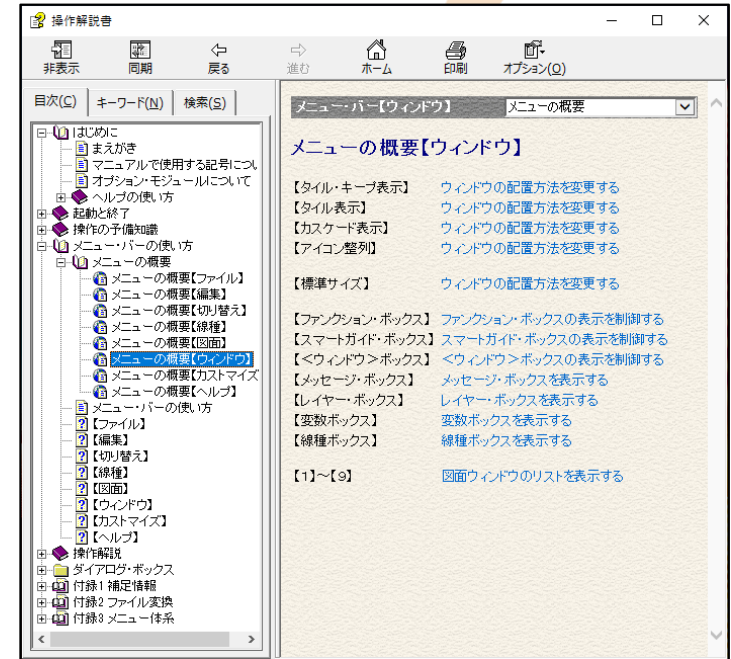
詳細につきましては下記のコンテンツも合わせてご利用ください。

● 参照マニュアル

- Windows [スタート] → [MICRO CADAM Helix] → 「操作解説書」
→メニュー・バーの使い方→メニューの概要→メニューの概要【ウィンドウ】

● おすすめ動画コンテンツ

<https://www.cad-solutions.co.jp/movie-index/>



1) スマートゲットとスマートガイド・ボックス

スマートゲットは、キーボードから入力可能な操作中に、要素の特性値、または2つの要素間の相対関係の値を表示、利用できる機能です。

スマートガイド・ボックスを合わせて利用することで要素の指定や値の確認が容易になります。

- ✓ スマートガイド・ボックスは、メニュー・バー [ウィンドウ]、[スマートガイド・ボックス]で表示します

要素を選択し、スマートボックスに情報を表示

「スマートゲット」をクリック

情報が取り込まれる

「書込」をクリック

文字が記入される

CAD SOLUTIONS Inc. 18



MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。